

令和八年度 学校推薦型選抜問題 (指定校B・D特待)

国語

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、問題用紙、解答用紙に手を触れないこと。
- 二、受験番号・氏名は、必ず所定の箇所にも明記すること。
- 三、解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に黒鉛筆で記入すること。
- 四、解答欄の枠は、設問数より多い場合があるので注意して記入すること。
- 五、試験中、必要がある場合には挙手すること。
- 六、試験終了後、問題用紙、解答用紙を、持ち帰ってはならない。

1

次の文章は伊藤龍平『怪談の仕掛け』の一部である。これを読んで、後の問い（問1～8）に答えよ。

怪談の場では、聞き手に対して、理想的な振る舞いが暗黙のうちに求められる。このルールを聞き手が破ったとき——例えば、話の腰を折るような冷やかしを入れるなどしたとき——たちまちにして怪談の場は失われ、おそらく修復できないだろう。とくに落語や講談のような、話し手が複数の聞き手を相手にしている怪談の場は、一人の不心得者も許されない危うい一線をもって維持されている。怪談の場での振る舞いが顕著に現れているのが、江戸後期から明治大正期に流行した怪談会で、昨今流行の怪談イベントもその流れのなかにある。

聞き手が話し手に支配される関係（見方^①によつては、その逆ともとれる）、すなわち、怪談の場には権力が生じているのだ。怪談がセンザイ^②的にもっているこの権力性とそれを発動させる構図を、ここでは仮に「I」と呼ぶことにする。

怪談の場の権力は、話し手が最初の一言を発した瞬間に生じる。

II、キャンプの夜、焚き火を見ながら馬鹿話をしていた友人が、ふ

と声を潜めて「そういえば聞いた話んだけどねえ、この先のトンネルで、むかし……」と話したとき、声のトーンや表情の変化、身ぶりなどから、友人たちは、彼がこれから怪談を話そうとしていることをシユンジ^③に悟る。そして、聞き手が話し手の企みに乗ったとき、そこに怪談の場は生じる。以降、話が終結するまで、聞き手は話し手の仕掛けにからめとられ、話し手は自身が仕掛けた言葉によって聞き手からめとられる。怪談の場での話し手と聞き手の共犯関係は、こうして成り立つものである。もう一度書くが、ここで発揮される権力とは怪談という形式自体に内在するものであつて、人間関係にはあまり影響されない。例えば、語り手が幼児で聞き手が大人だったとしても、怪談の場が形成されたとたん、そこには権力が生じる。

III。笑い話、美談、佳話、哀話、悲話、猥談^④、秘話、ナイシヨ^⑤話、逸話、よもやま話、自慢話、ほら話、冒険譚^⑥、裏話……などの

「——話」「——談」「——譚」には、いずれも話し手が聞き手に特定の振る舞いを促させる仕掛けが施されている。話し手が笑い話・猥談を始めたときにはおかしみを、美談・佳話を始めたときには感動を、哀話・悲話を始めたときには悲しみを抱かせるような仕掛けがあり、聞き手はそれにふさわしい反応を示すことを暗に要求される。

広く捉えると、こうした仕掛けはハナシ^⑦の場ゼンパン^⑧にみられるものだが、そのなかでも、右にレッキョ^⑨したような特定の振る舞いを促させ

る話を、本書では「仕掛けがある話」と呼ぶことにする。通常、日常会話では話す／聞く行為は意識されない。日常会話で用いられる言葉を^④「透明な言葉」と呼ぶならば、仕掛けがある話は、話す／聞く行為が意識され、目的化された「不透明な言葉」で話される。

(※) 本書……出題した文章の出典である『怪談の仕掛け』。出題した文章は同書の序章にあたる。

問1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから一つずつ選べ。

(ア) センザイ ア

- ① 雨でセンタク物が干せなかった。
- ② 来週はセンキョの投票日だ。
- ③ ヘリコプターが上空をカイセンする。
- ④ 店内のドウセンを工夫する。
- ⑤ ウイルスのセンブク期間は三日程度だ。

(イ) シュンジ イ

- ① 摘んできた花をタバねる。
- ② 料理がマタタく間に食べつくされる。
- ③ さんまのシュンは秋である。
- ④ イマドキの若者という紋切型の言い方。
- ⑤ 部活動のシュンキ大会が四月に行われる。

(ウ) ナイシヨ ウ

- ① 窓口でシヨテイの手続きを行う。
- ② ジョウチヨある街並みが美しい。
- ③ 着物のオビの結び方を習う。
- ④ 季節ごとにカンシヨの差が激しい土地。
- ⑤ 問題解決はシヨキ対応が重要となる。

(エ) ゼンパン
エ

- ① 荷物を会場にハンニウウした。
- ② テツパンでステーキを焼く。
- ③ 試験の出題ハンイを確認する。
- ④ 自動ハンバイ機で飲み物を購入する。
- ⑤ ショハンの事情で会は延期された。

(オ) レッキョ
オ

- ① 海外にキョテンを構えた企業。
- ② 祖父母は県外にキョジュウしている。
- ③ 若手選手がカイキョを達成する。
- ④ 申し出をキョゼツする。
- ⑤ 適切なキョリ感は大切だ。

問2 文中の空欄 I には、本文の他の箇所でも用いられている語句が入る。ここに入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 振る舞い
- ② 話
- ③ 形式
- ④ 権力
- ⑤ 仕掛け

問3 文中の空欄 II に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① しかし
- ② ただし
- ③ また
- ④ 例えば
- ⑤ なぜなら

問4 文中の空欄Ⅲに入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

ク

- ① 怪談の場が持っているのは、何も権力だけではない。
- ② 怪談の場を形成するのは、何も人間関係だけではない。
- ③ こうした仕掛けがある話は、何も怪談だけではない。
- ④ こうした仕掛けがある怪談は、何もキャンプの夜にだけ話されるのではない。
- ⑤ 形式に内在しているものは、何も仕掛けだけではない。

問5 傍線部①について、「その逆ともとれる」とはどのような意味か。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

ケ

- ① 怪談の話し手は、理想的な振る舞いをしないかもしれない聞き手の前で話しているため、話し手が聞き手に支配されているともいえるということ。
- ② 怪談の話し手は、一人で複数の聞き手の前で話しているため、話し手が聞き手に支配されているともいえるということ。
- ③ 怪談の聞き手は、理想的な振る舞いを話し手から暗黙のうちに求められているため、聞き手が話し手に支配されているともいえるということ。
- ④ 怪談の聞き手は、話の腰を折る不心得者かもしれない話し手から思われているため、聞き手が話し手に支配されているともいえるということ。

問6 傍線部②「怪談の場での話し手と聞き手の共犯関係」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

コ

- ① 聞き手の求めで怪談をはじめた話し手と、みずから求めたのに怖がる聞き手の関係。
- ② 聞き手を怖がらせた話し手と、話し手の怪談で怖がりた聞き手の関係。
- ③ 怖がらせるつもりはなかった話し手と、その話を怪談だと感じた聞き手の関係。
- ④ 冗談で怪談をはじめた話し手と、話し手の想定通りに怖がる聞き手の関係。

問7 傍線部③「特定の振る舞い」の例として適当でないものを次の①～④のうちから一つ選べ。

サ

- ① 先日学校を休んだのは仮病だったと休み時間に教えてくれた友人に対し、周囲を見渡してにやりとする振る舞い。
- ② 多くの生徒が参加しない部活動の自主練習に熱心に通っていると話す友人に対し、その誠実な努力をほめる振る舞い。
- ③ 夏休みに豪華な海外旅行に行ったことを自慢する友人に対し、自分が同じような旅行をしたときの経験を語る振る舞い。
- ④ 平和学習の授業のあと、自分の曾祖父も戦争で亡くなっていると教えてくれた友人に対し、驚きつつ神妙な表情をする振る舞い。

問8 傍線部④「透明な言葉」とはどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

シ

- ① 聞き手を怖がらせようというように話し手の意図が含まれておらず、話し手と聞き手が対等に交わす言葉。
- ② 聞き手に特定の振る舞いを求める仕掛けを持たず、話す／聞くという相互的な行為そのものを目的として交わす言葉。
- ③ 話に特定のメッセージをこめず、聞き手に自由に解釈してもらいたいと考える話し手が発する言葉。
- ④ 話す／聞く行為自体が目的とはならない場で、話し手と聞き手それぞれがみずからの役割に注意を向けることもなく交わす言葉。

2

次の文章は西井開『非モテ』からはじめる男性学』の一部である。これを読んで、後の問い（問1～8）に答えよ。

①(※1) 「非モテ」男性の苦悩とは単純に「モテない」ということに集約されない。男性集団の中で否定的な言葉を繰り返し浴びせられた傷、排除されるのではないかという恐怖心、最終的に孤立した痛み、加害をしてしまった罪悪感。そしてこれらの負の感覚が明確な言葉を与えられずに、澱（ナ）のように沈殿しているということ。「非モテ」という苦悩の中にはこうしたさまざまな問題が渦巻いている。

その中で最も重視したいのが、からかいや緩い排除という手段によって「非モテ」男性が追い込まれていく男性集団内の力学である。何度も言うように、この力学は男性間の権力関係によって成り立っている。また、からかいや緩い排除を受けた「非モテ」男性も、男性集団内の権力性と競争を背景に自身にレッテルを付与し、自己否定に至る。周囲と自己によって、「非モテ」男性は周縁へと追いやられていく／追いやられていくのである。この一連の過程を「男性集団内の周縁化作用」と名付けた（以下、「周縁化作用」とリヤッキ（ア）する）。

周縁化作用は、相当数の男性たちが経験をしているという点で個別的問題とは言えず、また「男性は暴力的傾向にある」という心理的問題でもなく、男性間の権力勾配によって普遍的に生じる社会問題として位置づけられる。また女性も一部の男性をからかうことがあることから、周縁化作用は両性を取り込みながら発現し、集団内で権力を持つ男性のハケン（イ）を維持すると言える。

ただし、この周縁化作用という問題は、「男性差別」ではないということを押しておきたい。このことを説明するために、まず「差別」という概念について確認する。

③(ウ) ゲンコウ（ウ）の社会において、「障害者」「女性」「在日外国人」といったマイノリティ属性を持つ集団は、その属性ゆえに社会資源やコヨウ機会（エ）から疎外されたり、暴力を受けたりする傾向にあるが、一方で、「健常者」「男性」「日本人」といったマジョリティ集団は、その属性ゆえに制度的・文化的にユウグウ（オ）され、不自由の少ない社会生活を送ることができる。差別という問題には、こうした属性間の圧倒的な非対称が存在している。

ところが周縁化作用の場合、ある集団では権力を持っていた男性が、別の集団では周縁化されることもあり、またその逆も生じる。（※2）第三章で触れた、周縁化された男性が別のコミュニティではマウンティングする側に回ったというエピソードはその典型だろう。

つまり、周縁化作用という現象には抑圧する側／抑圧される側を隔てる境界線が明確に引かれておらず、一時的に権力の不均衡はあったとしても、その勾配の角度が **I** に変化する性質を持っている。

II、周縁化された男性は確かに暴力や集団からの疎外にさらされるが、背が低い、肌が白い、性経験がないといったような社会的属性に還元できない特徴や、それが属性によるものであったとしても、障害や貧困、セクシュアリティに関わる社会的属性が、その要因になっている。つまり「男性」だから抑圧されているとは言えず、この点においても、周縁化作用は男性差別とは言えない。

ところが、抑圧されていると感じている当事者からすればこの二つの現象は見分けがつきにくく、混同してしまう危険性がある。ここまで論じてきたように、^⑤ がかいかいや緩い排除が言語化されてこなかったことに、混同の要因があるかもしれない。

(※1) 「非モテ」……恋愛経験が少ないか、全くないこと。

(※2) 第三章……出題した文章の典拠である『「非モテ」からはじめる男性学』の第三章。「非モテ」の男性が別のコミュニティにおいて、学歴や能力の有無でマウンティングする事例などが紹介されている。なお「マウンティング」とは、相手よりも上に立とうとして自慢話や見下すような言動をすること。

問1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから一つずつ選べ。

(ア) リヤツキ **ア**

- ① キリツ正しい生活を心がける。
- ② キソンの建物を活用する。
- ③ 歴史の年号をアンキする。
- ④ 提出のキジツを守る。
- ⑤ コウキ到来といえる状況になった。

(イ) ハケン **イ**

- ① 言い合いで相手をロンパする。
- ② 不安がハジヨウに押し寄せる。
- ③ 彼は性格がオオザツパだ。
- ④ 世界大会でレンパ中の選手。
- ⑤ ハスウを切り捨てて計算する。

(ウ) ゲンコウ ウ

- ① 不正がオウコウする社会。
- ② 政府のコウカンが声明を発表する。
- ③ コウキョウの場では静かにする。
- ④ 道がコウサしている。
- ⑤ コウフンのあまり声を上げる。

(エ) コヨウ エ

- ① 部活動のコモンをしている先生。
- ② ブッコした作家の遺作。
- ③ 衣服に汚れがコチャクしている。
- ④ 結婚して新しいコセキを作る。
- ⑤ カイコされて再就職を目指す。

(オ) ユウグウ オ

- ① 時間にヨユウを持って出発する。
- ② ブユウが伝説として残っている偉人。
- ③ ユウビな姿に目を奪われる。
- ④ 地域にコユウの問題に取り組む。
- ⑤ 甘いユウワクに負けてしまった。

問2 文中の空欄 I に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 カ

- ① 絶対的
- ② 支配的
- ③ 主観的
- ④ 否定的
- ⑤ 流動的

問3 文中の空欄 II に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 キ

- ① また
- ② たとえば
- ③ すなわち
- ④ しかし
- ⑤ それゆえ

問4 傍線部①「『非モテ』男性の苦悩とは単純に『モテない』ということに集約されない」とはどのような意味か。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

ク

① 結婚適齢期になっても結婚ができず、世間の「常識」から外れている人物とみなされ、より広い意味での疎外感を感じるということがあるという意味。

② 「モテない」ことが心理的に辛いのではなく、その結果として起こる男性集団内からの疎外の方こそが本質的な苦しみであるという意味。

③ 男性集団からの疎外や女性に対する加害の経験によって負の感覚が生じる上、しかもそれが言語化されないまま心の中にあることも苦しみであるという意味。

④ 「非モテ」とは男性集団内の権力闘争の敗者であり、女性と交際できないだけではなく男性同士の関係においても自己実現ができなくなるという意味。

問5 傍線部②「男性集団内の周縁化作用」の具体例として適当なものを次の①～④のうちから一つ選べ。

ケ

① 仲の良い男友達グループの面々に続々と恋人ができるなか、自分も彼女を作りたいと願い、清潔感のある私服を着るようになったが、男友達からは不釣り合いであると冷やかされ、自分には過ぎた行動であったと落ち込む。

② 仲の良い男友達グループ内で、それぞれの交際相手の容姿を評しあう会話が行われ、自分の彼女の容姿が「不細工」であるときなされて以降、グループ内では自分自身がいじられキャラになった。

③ 仲の良い男友達グループの中で、自分はひょうきん者として場を盛り上げるキャラクターを自負していたが、クラスの女子たちまでその役割を求めてくるようになり、このままでは恋愛対象として見てもらえなくなると焦る。

④ 仲の良い男友達グループの面々は総じて内向的で、当初は全員が恋人のいない状態だったが、一人に彼女ができた結果、その人はどんどん明るい性格となり、他のグループの男子と一緒に過ごすようになった。

問6 傍線部③「周縁化作用という問題は、『男性差別』ではない」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

コ

① 周縁化作用は、ここでは男性を具体例にしているが、女性の「非モテ」にも同じことがいえるため、男性に限定した表現はできないということ。

② 差別とはマイノリティとマジョリティの圧倒的な非対称を指す概念であり、マイノリティの属性を冠した「非モテ差別」と呼ぶべきだということ。

③ マジョリティ集団である男性は女性と比べて社会的に有利であるにもかかわらず、「男性差別」の語が「女性差別」の問題を隠してしまうということ。

④ 周縁化作用は抑圧する側と抑圧される側の境界線が明確ではなく、属性間の非対称が確固たるものではないため、差別とは言いがたいということ。

問7 傍線部④「この点においても、周縁化作用は男性差別とは言えない」とあるが、それはなぜか。ここでの説明として最も適当なものを、

次の①～④のうちから一つ選べ。

サ

① 「男性」だから抑圧されているという考え方は、差別という概念が構造的に含む、社会的属性の非対称に当てはまらないから。

② 男性であることは社会的属性に還元できる特徴であり、差別という概念の対象からは外れるから。

③ 男性という大きなくくりではなく、背が低い、肌が白い、性経験がないといった具体的な男性の特徴に注目する必要があるから。

④ 「非モテ」男性が周縁化される原因は、社会的属性に還元できない特徴や、男性という性別とは無関係の属性にあるから。

問8 傍線部⑤「からかいや緩い排除が言語化されてこなかったことに、混同の要因があるかもしれない」とあるが、ここでは「言語化」という営みにどのような効果があると捉えられているか。その説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

シ

- ① 感情や直感をそぎ落とすことで、論理的な思考に限定する効果。
- ② 言語で表現することで、その考え方の存在を可視化する効果。
- ③ 複雑な思考を簡潔な表現にまとめることで、直感的な理解を促す効果。
- ④ 表現力を鍛えることで、創造的な行動力を高める効果。

大問 ① 著作権者：伊藤龍平

『怪談の仕掛け』から一部引用

【許諾情報】

URL：<http://www.jcea.info/license2026/G0162-261123455.html>

大問 ② 著作権者：西井開『「非モテ」からはじまる男性学』から一部引用

【許諾情報】

URL：<http://www.jcea.info/license2026/G0162-261123456.html>